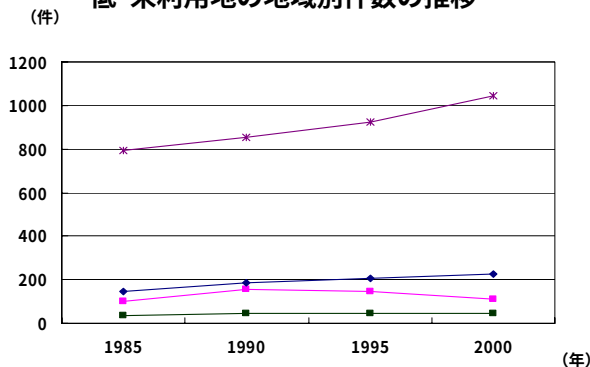


指標：低・未利用地の状況

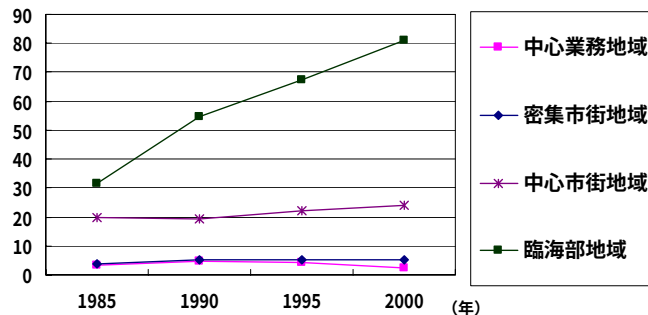
(都市のオープンスペースの利用)

低・未利用地の件数、面積ともに中心業務地域を除き、増加又は横ばいの状況にある。件数では中心市街地域、面積では臨海部地域での増加が大きい。低利用地では、「駐車場」の利用形態の占める割合が高い。

低・未利用地の地域別件数の推移



低・未利用地の地域別面積の推移



低・未利用地の用途別利用割合 (2000年、%)

	中心業務地域	密集市街地域	中心市街地域	臨海部地域
未利用地	37.6	29.0	9.0	33.3
駐車場	60.6	71.0	91.0	33.3
屋外利用地	0.0	0.0	0.0	22.2
建物付低・未利用地	1.8	0.0	0.0	11.1

(出典) 国土交通省土地・水資源局HP「低・未利用地等の利用状況の変遷に関する経年的実態調査」より、国土交通省国土計画局作成。

(注) 調査対象地区

中心業務地域：東京都中央区、文京区、港区のうち計58ha

密集市街地域：群馬県桐生市、東京都墨田区、板橋区のうち計64ha

中心市街地域：茨城県日立市、埼玉県本庄市、千葉県木更津市等のうち計167ha

臨海部地域：新潟県新潟市、愛知県名古屋市のうち計618ha